

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		河川等水路整備事業			
事業の概要		多発する集中豪雨による水害防止・環境衛生の向上のため、計画的に排水路の整備を実施し、町民の安心安全な生活に寄与するものである。浸水区域の解消はもとより、有蓋側溝とすることにより道路として使用する部分を広げ、また、臭気の拡大を防ぐなど、生活環境の改善を図る			
		事業期間	平成22年7月5日～平成23年3月30日		
		総事業費	2,113	本年度事業費	2,113
事業評価	事業の必要性	平成16年の台風23号による甚大な被害に見舞われた本町においては、近年も、多発する集中豪雨により浸水等の被害が頻繁に発生している状況である。このような中、河川等水路の整備については各地域とも強い要望があり、行政としても水害防止・環境衛生の向上のため、早期にその整備を実施することとしており、本年度もその推進を図るものである。			
	事業の有効性	大雨時の浸水が常態化している区域等では、被害を無くしたり軽減できたりし、加えて被害後の復旧等に係る費用の削減が見込まれる。また、各種防災事業と関連させることによって、より能率的に効果を発揮するものである。また、水路洗掘の防止により浚渫等に係る経費の削減にも資する。			
	事業の効率性	河川等の整備により、環境衛生の向上が期待でき、快適で安らぎのある生活環境づくりに資する。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 本事業の実施により、浸水区域を解消し、災害を未然に防止することで、大雨時における住民生活の安定、安全が図られる。			
		3 リーディング・モデル成果 水路の整備については各地域とも強い要望があり、町としても大雨の際の家屋の浸水防止・環境衛生の向上のため、年次計画により排水路の整備を実施することとしており、快適でやすらぎのある生活環境づくりに資する。			
4 広域的波及成果 浸水区域の解消のほか、有蓋側溝とすることにより道路を広く使うことができ、また、臭気の拡大を防ぐなど、生活環境の改善を図るうえで多くの効果がある。					
5 行財政改革に資する成果 大雨時の浸水が常態化している区域等では、被害を無くしたり軽減できたりし、加えて被害後の復旧等に係る費用の軽減が見込まれる。また、各種防災事業と関連させることによって、より効率的に効果を発揮するものである。水路洗掘の防止により浚渫等に係る経費の軽減にも資する。					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。